

門真市市制60周年記念事業 RUN伴+門真を 開催しました!!

4年ぶり
フル開催!

RUN伴+門真とは、認知症の方や高齢者・家族・支援者・市民が共に歩き、伴に走りながらゴールを目指すイベントです。



写真：RUN伴+門真2023

認知症になってもひとり歩きができるまちへ！

主催：ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会 RUN伴+門真チーム 《2023年10月27日10:00~13:30 門真市民プラザ》

清々しい秋晴れの下、今年の『RUN伴+門真』は、門真市市制60周年記念事業として開催されました。コロナ禍後、初めて各チームが、市内3コースに分かれてゴールを目指す、本来の姿を取り戻すことができました。

『RUN伴』は、認知症の方や高齢者・家族・支援者・市民が共に歩き、走りながらゴールを目指すイベントです。今回は市制60周年ということで、宮本市長や、門真市出身の歌手みちごえゆうさんにも参加・出演頂き、盛り上げて頂きました。晋栄福祉会からは、『ナーシングホーム智鳥』と『ケアホームちどり』の選手（ご利用者）と支援者（職員）が参加し、西コース（門真市民プラザ→特別養護老人ホーム三養苑→ナーシングホーム智鳥→門真市民プラザ）を、約2時間強かけて歩きました。 ※他に、ご家族、地元の高校生、ボランティアの方々も沢山伴走してくれました。

中継地点では、かわいいお出迎え ～ 再び門真市民プラザへ(感動のゴールシーン)

中継地のナーシングホーム智鳥では、隣接する智鳥保育園の園児たちが、応援と休憩のお手伝いのために、待機していました。施設前の通りに走者の姿が見えると「がんばれー!」の声援。休憩所では、お菓子やお茶を選手にふるまうお手伝いをしてくれました。みんなで記念撮影を終えると、いよいよゴールに向けてラストスパートです。

12時20分ころ、北コースチームが1番目にゴール。距離の差もあって、晋栄福祉会(西コース)は2番目のゴールとなりました。ゲートをくぐる際、何人の方が車イスから立って、自分の力でゴールしようとする姿があり、車イスでゴールされた方も含めて、全ての選手の表情に、強い達成感を見ることができました。

最後に主催者を代表して、ちどりケアマネジメントの東中屋さんが、参加者(ご利用者)から花束を頂きました。参加者の方が、本当に感謝され涙を流されているのが分かり、広報の私も感動でもらい泣きしそうになりました。



写真：RUN伴+門真2019